

経営報告会

2018年6月27日

 山一電機株式会社

ご説明内容

【1】 会社概要の説明

【2】 2017年度業績結果と2018年度業績予想

【3】 2017年度～2019年度中期経営計画進捗状況

会社紹介

もっとしなやかに
ベターコネクション



山一電機グループは
人・企業・社会・地球との
より良い結びつきを柔軟な技術力と
発想力をもって意欲的に創造する
「もっとしなやかにベターコネクション」を
コーポレートスローガンに
お客様の価値創造に貢献します。

設 立	1956年11月 1日
本 社	東京都大田区南蒲田 2-16-2 テクノポート三井生命ビル
代 表 者	代表取締役社長 太田 佳孝
資 本 金	10,084百万円 (株式 23,329 千株)
市 場	東証1部 (証券コード 6941)
	1988年12月店頭公開 2000年3月東証2部、2001年3月 東証1部
従 業 員 数	連結 : 1,502名 (外、臨時雇用 933名)
	単 体 : 358名 (外、臨時雇用13名)
事 業 内 容	電子応用機器用部品の製造および販売 半導体製造機器の製造および販売 光学機器ならびに光学部品の製造および販売
グ ル ー プ	国内子会社1社、海外子会社13社 (清算手続き中の海外1社を除く)

グローバルネットワーク

★ 販売拠点 : 11 拠点

★ 生産拠点 : 7 拠点

★ 開発拠点 : 8 拠点



3つの事業

テストソリューション事業

ICソケットは、半導体検査工程で使われるICと検査機器とをつなぐ治具



【主要製品】

- バーンイン用ICソケット
- テスト用ICソケット
- プロブピン
- プロブカード
- 半導体テストサービス

コネクタソリューション事業

コネクタは、エレクトロニクス機器間や部品間の電気や信号をつなぐ部品

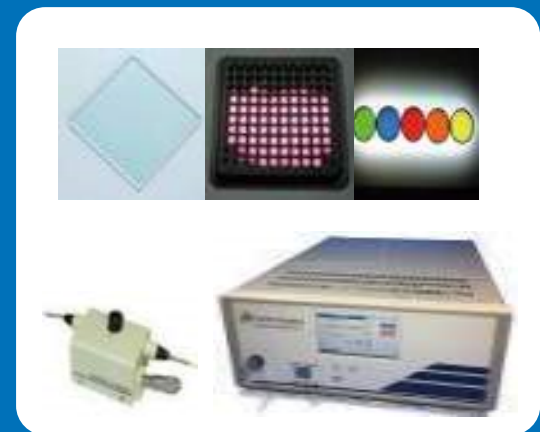


【主要製品】

- メモリーカードコネクタ
- 高速伝送用コネクタ
- 実装用ICソケット
- YFLEX®
(フレキシブルプリント配線板)

光関連事業

光学フィルタは、特定の波長範囲の光だけを透過させる光学素子



【主要製品】

- 光学薄膜フィルタ
- 半導体レーザ光源
- 光モジュール

ご説明内容

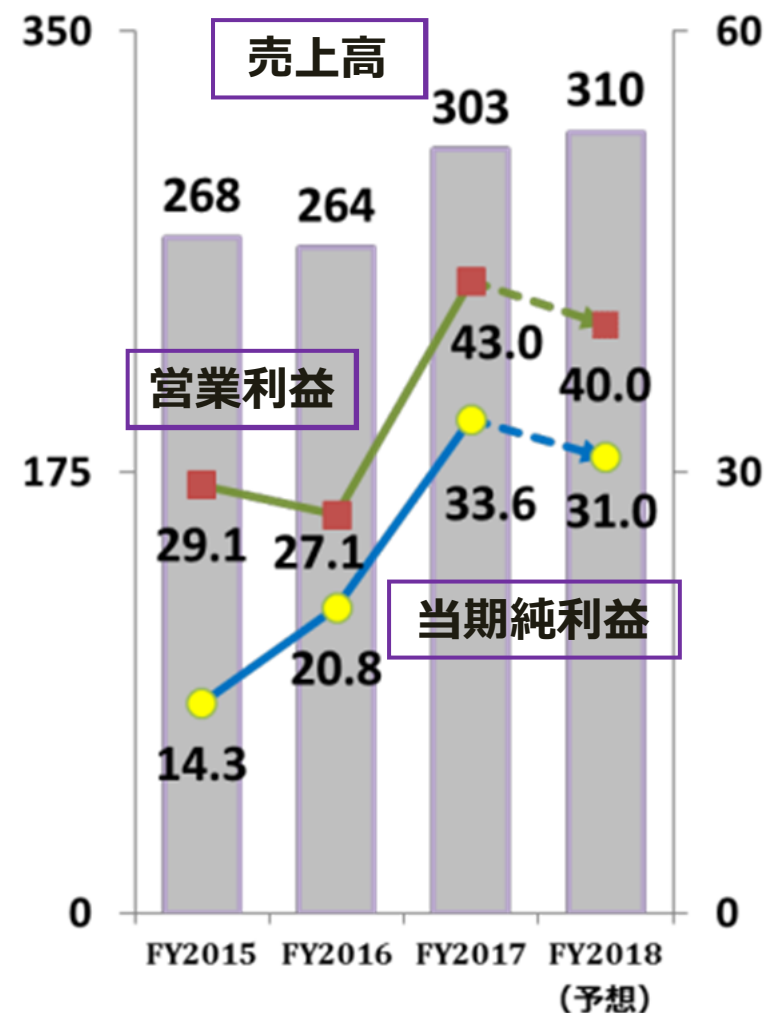
【1】 会社概要説明

【2】 **2017年度業績結果と2018年度業績予想**

【3】 2017年度～2019年度中期経営計画進捗状況

FY2017 業績結果とFY2018業績予想

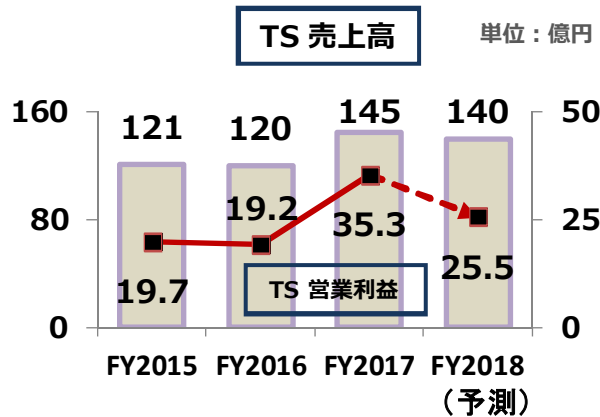
単位：億円



単位：億円	FY2016	FY2017		FY2018 (予想)
	実績	実績	前年同期比	
売上高	264	303	39	310
営業利益	27.1	43.0	15.9	40.0
経常利益	25.6	42.9	17.3	39.0
当期純利益	20.8	33.6	12.8	31.0
EPS (円)	95.54	151.23	55.69	137.29
BPS (円)	848.06	973.56	125.50	—
ROE (%)	11.8	16.7	4.9	—

為替レート	FY2016	FY2017	FY2018
USDレート (円)	108.36	110.85	107.00
EURレート (円)	118.78	129.68	130.00

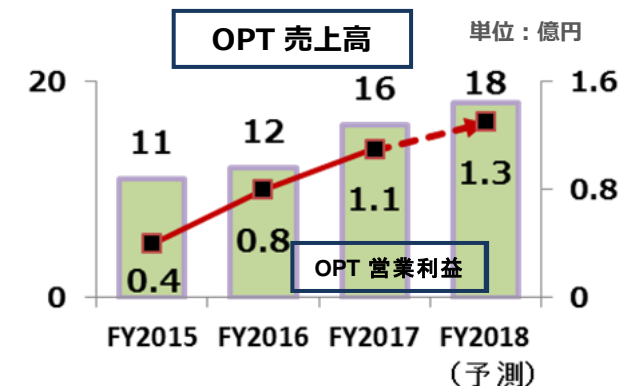
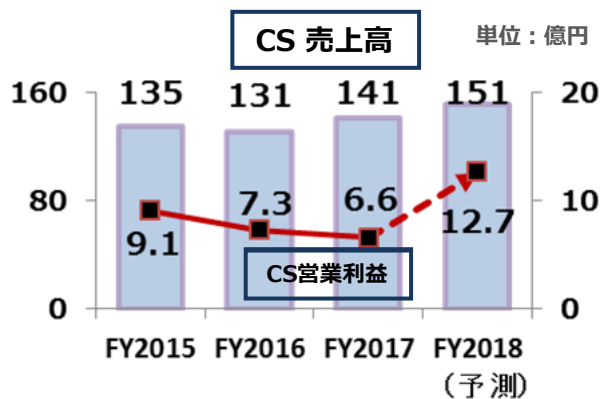
FY2017 事業別業績結果とFY2018事業別業績予想



スマートフォンの高機能化
自動車の電子化の進展
通信インフラ投資の進展
高性能サーバーの需要拡大

★半導体の開発、設備投資の活発化 → 検査需要の増大

★高速・高機能・高性能の電子部品の需要拡大



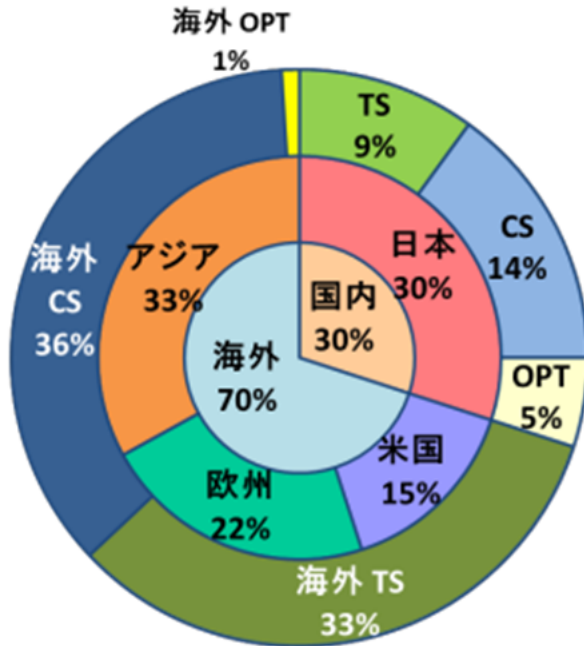
単位：億円

		FY2016	FY2017		FY2018 (予想)
		実績	実績	前年同期比	
TS事業	売上高	120	145	25	140
	営業利益	19.2	35.3	16.1	25.5
CS事業	売上高	131	141	10	151
	営業利益	7.3	6.6	▲0.7	12.7
OPT事業	売上高	12	16	4	18
	営業利益	0.8	1.1	0.3	1.3
その他	営業利益	* ▲0.3	* ▲0.0	0.3	0.3

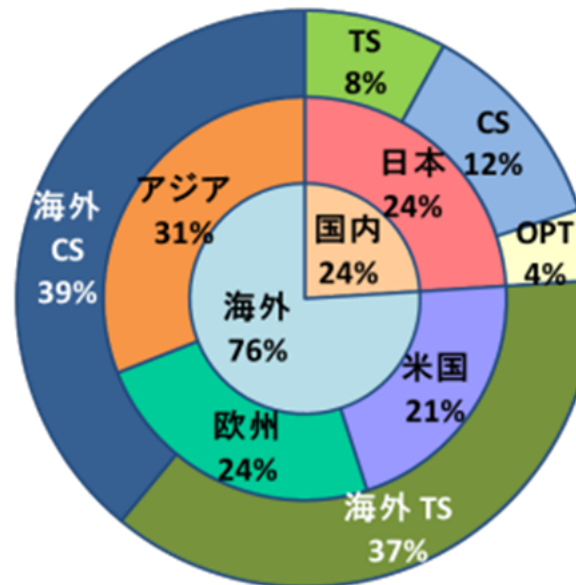
注記：*は連結調整額

海外売上高比率

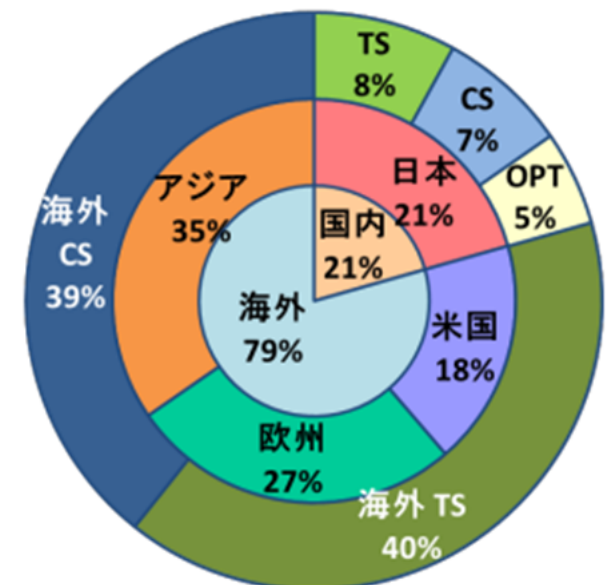
FY2013



FY2015



FY2017



海外売上高比率：79% 欧州・米国・アジアとも増加（FY2013対比）

	FY2013	FY2014	FY2015	FY2016	FY2017	FY2013比
TS事業の海外売上比率	79%	82%	82%	82%	83%	+ 4ポイント
CS事業の海外売上比率	69%	72%	77%	80%	84%	+ 15ポイント

主要経営指標の状況

限界利益率：13年度比 2.4ポイント改善
 安全余裕率：13年度比 19.7ポイント改善

現預金71億円 > 有利子負債34億円
 固定費比率：13年度比 8.1ポイント改善
 販管費比率：13年度比 5.0ポイント改善

単位：億円

	FY2013	FY2017	増減
売上高	218	303	85
営業利益	8.1	43.0	34.9
経常利益	12.9	42.9	30.0
当期純利益	9.7	33.6	23.9
限界利益率(%)	49.9	52.3	2.4
安全余裕率(%)	7.4	27.1	19.7
損益分岐点	201.6	221.2	19.6
EPS (円)	41.6	151.23	109.63
ROE (%)	7.5	16.7	9.2
配当 (円)	5.0	35.0	30.0

単位：億円

	FY2013	FY2017	増減
総資産	235.8	309.0	73.2
現預金	48.7	71.8	23.1
有利子負債	55.2	34.1	▲21.1
純資産	134.8	221.8	87.0
BPS (円)	578.27	973.56	395.29
自己資本比率(%)	57.1	71.3	14.2
固定費	100.6	115.7	15.1
固定費比率 (%)	46.2	38.1	▲8.1
販管費	55.5	62.1	6.6
販管費比率 (%)	25.5	20.5	▲5.0

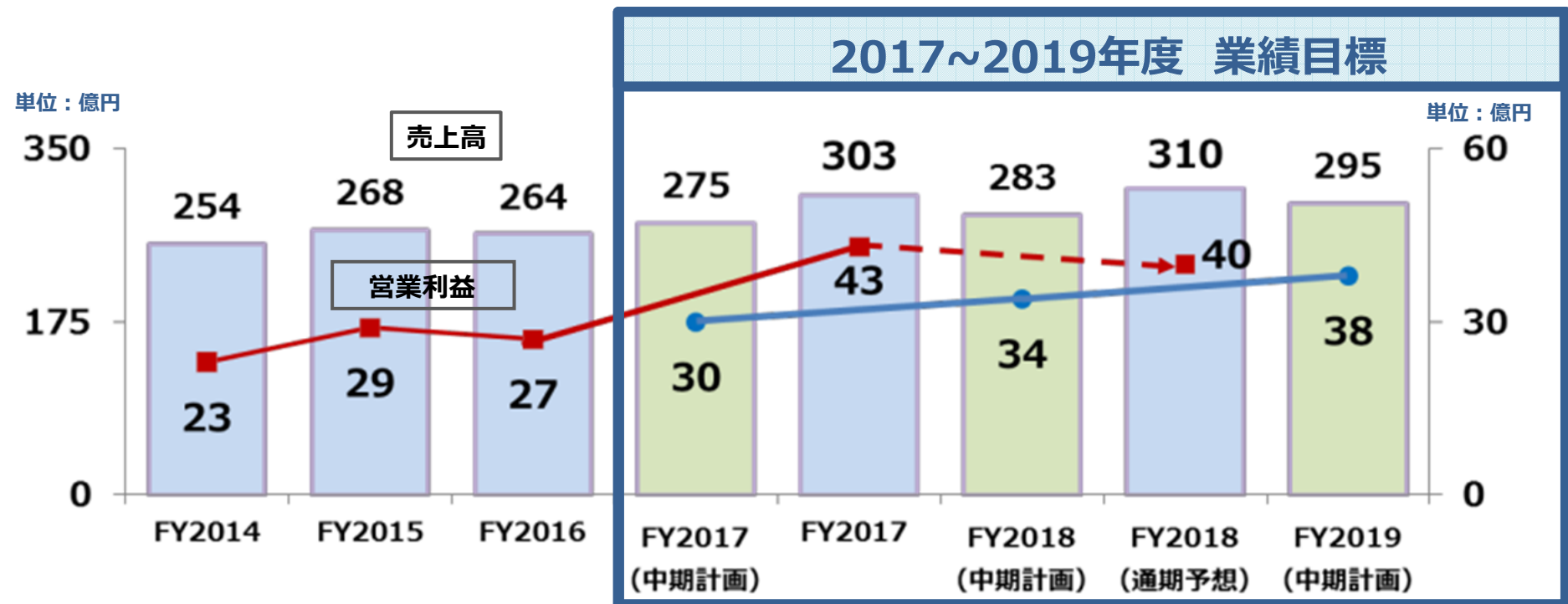
ご説明内容

- 【1】 会社概要説明
- 【2】 2017年度業績結果と2018年度業績予想
- 【3】 **2017年度～2019年度中期経営計画進捗状況**

中期経営計画の進捗状況

目標：売上高 853億円、営業利益 102億円

⇒17年度 売上35%、営業利益42% 進捗



	中期計画目標値	2017年度実績	2016年度
ROE	10.0%以上	16.7%	11.8%
配当性向	30.0%を目指す	23.1%	20.9%
設備投資	70.0億円 (3カ年)	20.3億円	15.3億円

中期経営計画

2017~2019年度 経営目標

お客様と共にグローバルに連携し 未来につながる製品の創造

山一電機が目指す方向

お客様が満足いただける製品・サービスを提供できる会社に成長



★ 2019年度末 中期経営計画のゴール

- ・TS事業を柱に事業を進め、グローバルニッチTOP製品を創出し、成長し、CS事業が第2の柱に成長する
- ・グローバルの効率化を追求し、競争力を持った個性ある企業に成長する

中期経営計画 基本戦略

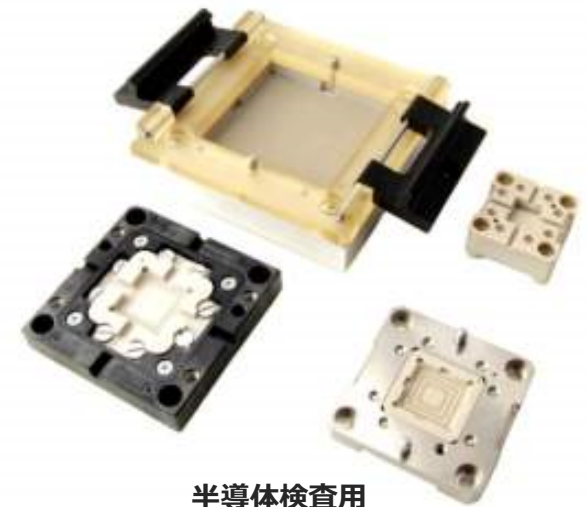
成長戦略：グローバルニッチTOP製品の創出

グローバル連携の強化

1. 『ユニークな製品、差別化した製品の開発』
2. 『伸びる市場/地域・元気な顧客・儲かる製品』

構造改革：グループの効率化を更に追求

1. グローバル管理体制強化
2. グローバルのモノづくりの効率化推進
3. グローバルシステムの強化



半導体検査用
テストソケット



光トランシーバ用コネクタ

中期経営計画 成長戦略

「伸びる地域・市場、元気な顧客、儲かる製品」と「ユニークな製品、差別化した製品の開発」をキーに

技術力の強化とグローバルニッチTOP製品の創出

TS事業

- ・新技術へのタイムリーな対応によるシェア拡大
- ・新市場、新規顧客開拓による販売拡大
- ・グローバル連携強化による顧客サービスの向上



個別温度制御用
バーンインソケット



大電流IC用
バーンインソケット



半導体検査用
テストソケット

CS事業

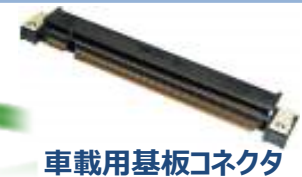
- ・グローバルニッチTOP製品の創出
- ・通信・車載・産機・医療の4市場向け製品の拡充



光トランシーバ用コネクタ



産業機器用
丸型コネクタ



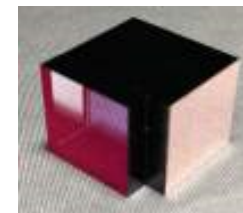
車載用基板コネクタ



車載用同軸コネクタ

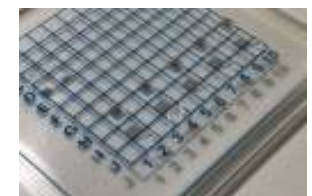
OPT事業

- ・顧客の開発段階からのソリューション提案力強化
- ・事業領域の拡大と技術力の向上



医療用赤外線カメラ搭載プリズム

デジタルコヒーレント光通信用ビームスプリッタ&ミラー



中期経営計画 構造改革

グループの効率化を更に追求し

➡ グローバル体制を強化し ➡ 競争力を強化

1. SCMの強化

2. YEC製品のグローバル管理体制強化 ⇒ グローバルでの販売強化

- ① 開発製品情報の共有化
- ② グローバル品質保証体制の構築

3. グローバルのモノづくりの効率化推進 - 歩留り100%へチャレンジ

- ① フレキシブル生産工場の実現 (0~24H稼働工場)
- ② ロボットによる生産拡大

4. グローバルシステムの強化

ご清聴ありがとうございました。

※注意事項

本資料は、2018年6月27日現在の当社グループの事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載した意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更する場合があります。

問合せ先：経営管理部広報課 古畑 利之

TEL: 03-3734-7661 FAX: 03-3734-0120

<http://www.yamaichi.co.jp>

E-mail: furuhata@yamaichi.co.jp